

授業計画					
週	授業項目	時間	授業内容	自学自習(予習・復習)内容	セルフチェック
1	ガイダンス 地球環境問題の	4	地球環境問題の種類とその特徴を学ぶ。		
2	生態工学の基礎	4	生物多様性、生態系の構造、生態系の機能について	生物多様性、生態系	
3	水環境とその保全	4	水域環境、富栄養化、自浄作用について学ぶ。	富栄養化、浄化	
4	土壤森林環境とその保全	4	土壤の機能と保全について学ぶ。	土壤の機能	
5	化学物質の生態影響	4	影響評価、界面活性剤や農薬の影響について学ぶ。	LD50,LC50	
6	環境保全・浄化システム I	4	活性汚泥法などによる環境浄化について学ぶ。	活性汚泥、浄化システム	
7	環境保全・浄化システム II	4	浄化槽見学を通して浄化の仕組みを学ぶ。	生物膜法	
8	中間試験と解説	4			
9	日本特有の自然との共生	4	里山・里海、棚田の役割について学ぶ。	里山生態系の特徴	
10	熱帯雨林	4	熱帯雨林の現状と保全について学ぶ。	熱帯雨林の特徴	
11	熱帯・亜熱帯の陸と沿岸の生態系I	4	熱帯・亜熱帯域での陸と沿岸の生態系について学ぶ。	熱帯・亜熱帯、生態系	
12	熱帯・亜熱帯の陸と沿岸の生態系II	4	熱帯・亜熱帯域の生態系を野外で学ぶ。	野外調査	
13	サンゴとサンゴ礁生態系	4	サンゴ礁の過去から未来(琉球大学・本郷宙軌博)	サンゴ、サンゴ礁生物	
14	熱帯・亜熱帯の海洋生物の多様性と保全	4	熱帯・亜熱帯沿岸の海洋生物の多様性と保全について学ぶ(OIST・藤井琢磨博士)。	生物多様性、動物分類	
15	動物の生き様から保全を考える	4	海産無脊椎動物の行動学と環境保全(琉球大学・関澤彩真)	無脊椎動物、動物行動学	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計			60	実時間	45
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)					標準的所用時間(試行)
備考欄					
<ul style="list-style-type: none"> この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) この科目的主たる関連科目は、環境学(3年)、資源生物機能形態学(専1年)である。 その他必要事項は各コースで決める。 					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)